



発行日 令和8年3月10日
発行元 大山崎ふるさとガイドの会(OFG)
発行責任者 池内 泉
連絡先 大山崎町歴史資料館内
TEL 075 (952) 6288, FAX 075 (952) 6289
URL <https://www.kyoto-ofg.org/>



設立 30 周年記念式典を盛大に開催しました



令和8年1月22日(木)大山崎ふるさとセンターにおいて、町長、町議会議長、町教育委員会教育長ほか町役場の関係者、町内社寺・諸施設・メディアの関係者、本会の設立、育成にご尽力いただいた方、本会元会長の方々にご臨席いただき、設立30周年記念式典と祝賀会を盛大に開催しました。

第一部の記念式典は、つくどんによる和太鼓の演奏で華々しく開幕しました。会長が「多くの課題を抱えながらも今まで続けてこられた方々の尽力に対して感謝の念に堪えない。日本で一番有名な山は富士山だが二番目に有名な山は天王山である。マスメディアが『明日は天王山』というフレーズを多く使用している。天王山といえば大山崎、大山崎といえば天王山と言われることを目指したい。今年度はふるさと案内人養成講座を開催し、修了者の内20名が新しく活動に参加していただけるこ

とになった。」と挨拶をしました。次いで町長をはじめ各来賓から、設立30周年のお祝いと激励のお言葉をいただきました。

第二部の祝賀会は、妙喜庵住職 武田士功様の音頭による乾杯で幕を開けました。そのあと、30周年を祝って会員が詩吟を朗々と詠じ、お祝いの雰囲気が一層高まりました。今日までの活動の様子をまとめたスライドショーを流しながらご来賓、元会長、会員を交えての会話が弾んでいました。ご来賓からも会設立時の苦労話や、元会長の思い出話をしていただきました。そして、永く在籍してしている会員に会長から感謝状と記念品が渡されるというサプライズもあり、さらに会員2人による琴の演奏で祝賀気分も大いに盛り上がりました。

本式典は各会員にとって、生涯学習ボランティア団体としてあるべき姿や、会の活動に各会員が協力して取り組むことの大切さなどを改めて考えるよい機会になったと思います。

本事業の実施に当たって、各方面のみなさまや会員から多大なご協力をいただいたことに感謝します。

(30周年記念事業実行委員長 三宅秀輝 記)



1月～2月の活動実績

1. 主なガイド
 - 1月23日(金) 大阪北部コミュニティクラブ 23名
 - 1月24日(土) 円明寺が丘長寿会(出前ガイド) 27名
 - 1月29日(木) 枚方観光ボランティアの会 18名
 - 2月19日(木) ナルク奈良 15名
 - 2月21日(土) 大山崎ミニ探訪「秀吉の道を歩く」 49名
2. 会の行事など
 - 1月22日(木) 30周年記念式典・祝賀会
 - 1月26日(月) あちこち学習山歩91 寒波襲来の為、延期
 - 1月29日(木) 入会予定者現地学習会
アサヒグループ大山崎山荘美術館
 - 1月29日(木) 大山崎町文化保存活用地域計画協議会
会長出席
 - 2月11日(水・祝) OFG 歴史講演会「山崎城の歴史」
 - 2月12日(木) 淀川フォーラム 会長出席
 - 2月19日(木) 入会予定者現地学習会 離宮八幡宮

- 2月21日(土) あちこち学習山歩92 「天王山登山と清掃」

活動予定

1. 主なガイド予定
 - 3月28日(土) 水辺の散策 全班
 - 4月18日(土) KSC 歴史探訪クラブ 26期0B会 4班
 - 4月18日(土) から春の定点ガイド 全班
 2. 行事予定
 - 3月17日(火) あちこち学習山歩93 「天王山」
 - 4月3日(金) あちこち学習山歩94 「長岡宮跡探訪」
 - 4月9日(木) 令和8年度定期総会
- 大山崎町歴史資料館 小企画展
3月3日(火)～3月29日(日) 「古絵図から見た三川合流」
○アサヒグループ大山崎山荘美術館
3月20日(金・祝)～9月6日(日)
「開館30周年記念 山本爲三郎・河井寛次郎没後60年記念」
共鳴 河井寛次郎×濱田庄司—山本爲三郎コレクションより

1-2月 ガイド実績

	一般ガイド		主催ガイド		歴史資料館		出前ガイド		定点ガイド		合計	
1-2月	5件	67人	1件	49人	68件	124人	1件	27人	0件	0人	75件	267人
7年度累計	44件	597人	5件	159人	358件	733人	5件	117人	495件	1,612人	907件	3,218人

大山崎ふるさと案内人養成講座を終えて

去る12月25日にふるさとセンター3階ホールにおいて、ふるさと案内人養成講座の修了式を挙りました。

大山崎町教育委員会の浅田教育次長、向井課長、歴史資料館福島館長にご臨席頂く中で南教育長から修了証を32名の方々に一人ずつ手渡していただきました。

講座は第1回以降福島館長の他、向井課長、平山学芸員に座学を行っていただきました。出前ガイドの実演の他に、出来るだけ現地学習を取り入れ、妙喜庵（待庵）と聴竹居の拝観や見学、離宮八幡宮、関大明神、アサヒグループ大山崎山荘美術館庭園、観音寺、瓦窯跡公園などで現ガイドによる案内を行いました。

これは受講生の皆さんに大山崎の歴史と自然を直接肌で感じ、心に留め置いてもらうことを意図したものでした。また会期中でお点前付き懇談会を開催し、受講生

の皆さんとの対話と親睦をはかり、徐々に双方の距離が縮まりました。

受講生の皆さんは全7回の講座を通して熱心に受講され、その姿勢は私たち既存会員にとっても良い刺激となりました。

全養成講座のカリキュラム終了時にはなんと20名の方から入会申し込みがありました。

30周年を迎えたOFGは、新入会員の皆さんと共にさらに飛躍してゆくことを願ってやみません。

(養成講座実行委員会副委員長 小西弥生 記)



OFG バス研修「関ヶ原～竹中陣屋」

年末の12月11日(木)、関ヶ原古戦場から竹中陣屋に、養成講座受講生7人を含む総勢37人でバス研修旅行に行ってきました。

晴天に恵まれ、関ヶ原古戦場では3組に分かれて、現地のガイドの方々の案内で、笹尾山・石田三成陣屋跡、島津義弘陣跡、開戦地、小西行長陣跡、はるか南に松尾山・小早川秀秋陣跡を望み、最後は徳川家康陣跡と、約2時間弱広大な関ヶ原陣地跡を歩きました。見渡す限り広大な合戦跡をささげるものはなく、往年の壮大な合戦が偲ばれました。

実は実際の合戦の前に、調略・書状・風聞等、空中戦が飛び交い、腹の探り合いの前哨戦が始まっていたそうです。

最大の功績は小早川秀秋の裏切りとよく言われます。我が郷土広島県三原の英雄、小早川隆景の養子が歴史を決定づけたとは、感慨深いことです。いつの日か再び関ヶ原を訪れて、松尾山に登り、秀秋が見た景色に思いを馳せたいと願います。

思えば、天下分け目の天王山、天下分け目の関ヶ原と、歴史の歯車は一瞬で違ったものになる、歴史にIFはない

とよく言われますが、偶然なのか、必然なのか、後世を生きる我々には計り知れない、神の力、思し召しが働いているのかもしれない。策士の家康対真面目一徹の三成。天王山では手練手管の秀吉対古い価値観の光秀。神の軍配は何処に。思いは尽きません。

やがて昼食、すき焼き鍋にビールでほっこり。仲間としばし歴史歓談。

竹中陣屋では、竹中半兵衛の業績に感動、特に城主斎藤龍興を諫めるため稲葉山城を襲った話は痛快でした。秀吉は良き参謀を得て天下人に。人を見る目も一流です。

往時を偲びながら、心地よいバス旅を終えました。

みなさん、ありがとうございました。



(4班 高垣真二 記)

山崎合戦ウォーキングを開催

12月13日(土)、山崎合戦ウォーキングを開催した。春及び秋の天王山ウォーキングが雨で中止となり、急遽企画したものである。コースは、秋の合戦コースと同じであるが、初めての試みとして、ふるさとセンター→離宮八幡宮→瓦窯跡公園→東の黒門→夢ほたる公園→光秀本陣跡→恵解山古墳→勝竜寺城公園というルート。1月からの大河ドラマ「豊臣兄弟！」を意識したもので、関西一円はもとより、三重県、岐阜県から来られた方もおられ、募集期間1カ月ほどにも関わらず、50名参加となった。

参加者たちは、瓦窯跡公園から山崎地峡で梅雨末期増水した淀川が迫る街並みを見て、秀吉がその中、大軍を進めたことに驚いていた。東の黒門から西国街道では、足軽たちが駆け抜けた陶板絵図「秀吉の道」に思いを馳せた。天王山夢ほたる公園では、合戦の中心地であることと

羽柴秀長・黒田官兵衛の陣営から戦場全体を見渡せるという説明に首肯していた。勝竜寺城公園での解散後、長岡京ふるさとガイドの会による勝竜寺城の説明を多くの参加者が熱心に聞き入っていた。

今回は、大山崎町内だけでなく、勝竜寺城まで足を延ばし、山崎合戦を堪能していただいたものと思う。短期間の準備にも関わらず、ご協力をいただいた会員、長岡京ふるさとガイドの会の方々に感謝申し上げます。(1班 村中厚司 記)

